

過疎集落の事例に学ぶ

負の要素をチャンスに変えて



坂根憲昭さん

10月10日、チエリヴァホール大会議室で第2回地域委員会全体会が開かれ、参加した地域委員会委員ら90人が広島県三次市作木町の事例にまちづくりを学びました。

この日の全体会では、三次市作木町の下地区社会福祉協議会連合会事務局長の坂根憲昭氏が「住む人が困らない仕組みを作り上げるために「拠点施設」からの集落支援システムの構築」と題して講演。

坂根さんは、高齢化率が50%を超える地区の現状から、「高齢者の生活を抜きにして地域の活性化やまちづくりを考えることは不可能だった」として、

「健康」をキーワードに、この日にやくづくりなどを通じて高齢者の知識や技術を継承し、同時に異世代交流を行う「体験プログラム」や高齢者を送迎して食事会などを行う「おたっしや教室」、1人暮らしの老人宅を訪問して、話し相手になり、必要に応じてその状況を都市部に住む家族に伝える「おたっしや隊」などの事業を紹介。地域での生活不安を抱える高齢者の安心感を高め、高齢者の生き甲斐づくりをサポートしています。

自らこうした事業や世代、地域間をつなぐコーディネーターとしてまちづくりに携わってきた坂根さんは、「思い込みを捨て、思い付きを大事に」と心がけて、時間やチャンスを大切にしているそうです。「こうした役割を担う人間は必要だが、一人では何もできない」と周囲の人の協力とそこかわり方を強調しました。

一方で、「ボランティアスタッフに頼る活動には限界がある」と、人材育成を含めた今後の展開や、まちづくりを支える地域のあり方について課題を挙げました。

「マイナスイメージに捉えがちな過疎地域の様々な要素を地域づくりに活かしたい。足元を見つめ、現場に合う活動をできることから展開してほしい」と参加者を激励して講演を終えました。

雲南ニュース



速水市長が始球式

10月1日、明石緑が丘公園内に整備した雲南パークゴルフコース（愛称…グリーンパーク雲南）のオープンセレモニーを開催。公園管理者や社会体育関係者ら約60人が参加し、コースの完成を祝いました。

雲南パークゴルフコースは、山陰初の国際パークゴルフ協会公認コース。約16,000㎡の敷地には天然芝18ホール（総延長710m、パー66）が設置されています。



広島県パークゴルフ協会連合会の東迫正良会長

来賓として訪れた広島県パークゴルフ協会連合会の東迫正良会長も、山陰初となる公認コースが設置されたことを喜び、「広島県からも多くの愛好家が訪れるだろう。県を越えた交流大会なども行いたい」と話されました。

セレモニー終了後、参加者らは早速コースに出向き、初ラウンドを楽しんでいました。

雲南パークゴルフコースオープン
山陰初の公認コースが完成

多機能施設に交流人口拡大の期待

新 出雲大東駅がオープン



9月28日、出雲大東駅の改築オープンを記念する竣工セレモニーが行われ、地元住民ら関係者約200人が新しい駅舎の完成を祝いました。

出雲大東駅周辺整備事業の一環で建設された新駅舎では、これまで行ってきたJR乗車券の販売に加え、新たに市民バス回数券や農特産品の販売、観光案内が行われます。大東駅前簡易郵便局がテナント入居して営業されるほか、JA雲南大東グリーンセンターが駅舎に併設して移転営業されます。



9時36分、一日駅長田中明日翔（たなかあすか）君の掛け声で新駅竣工後の第1号となる出雲横田行きの下り列車が出発！

速水市長は、単なる駅舎ではなく、市民の生活に密着した素晴らしい施設が完成したことを喜び、「雲南病院や大東高校への通院・通学はもちろん、観光や産業振興の拠点としてたくさんの人に利用してもらいたい」と交流人口の増加に期待を寄せました。

指定管理者制度により施設管理を受託する同駅管理組合の岩田夏井代表は「責任の重さを感じる。インターネットの活用や女性ならではの視点とアイデアでまちづくりの拠点となるよう努めていく」と意気込みを語りました。

9月27日、木次総合センターで「ふるさと雲南キャリア教育推進プログラム策定委員会」が開催されました。この取り組みは「雲南ブランド化プロジェクト」の初年度事業の一つとして位置付けられています。

第1回のこの日は、土江教育長から13人の委員に委嘱状が手渡され、プログラム策定にあつての背景や、市の教育基本計画の理念等について確認協議された後、委員の互選により委員長に

原悟司掛合中学校校長、副委員長に飯島良子多根小学校教頭がそれぞれ選出されました。

議事では、今年度中の作業計画や作業内容のイメージについて協議され、

- ①地域資源を盛り込み
 - ②小中の教育内容の系統性を重視し
 - ③各教科等との関連性を整理した上で
 - ④総合的な学習の時間を活用して取り組める
- 「独自のキャリア教育推進プログラム」を作成することが決定されました。今後は、委員会内に設置された作業部会を中心に協議される予定です。



「キャリア教育」とは？
児童・生徒の勤労観・職業観を育てる教育。社会的自立に向けた教育に取り組み、子どもの「生きる力」を育成することを目的としています。

教育のブランド化めざし
独自の教育プログラム策定へ



「平和を」の都市宣言のまち
永井隆博士生誕100年
シリーズ⑧

何よりも「平和」であること。私たちの生活はその上に成り立っています。永井隆博士生誕100年の今年、「博士の『平和を』の精神に学び、訪れる人に清々しい気持ちになつてほしい」と永井隆記念館に、ボタン（倉田一さん）やアサガオ（陶山隆夫さん）、キク（石飛光祥さん）などの花を飾っていただいています。



永井隆記念館の玄関で来館者を迎える沖縄アサガオの花（10月15日）

永井隆記念館 ☎0854-45-22209